

平成27年度授業改善推進プラン

清瀬市立清瀬第四中学校第3学年

	学力調査から見えた課題(調査のない教科は授業における課題)	授業改善のための具体策(重点)	成果と課題(年度末)
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・学年相当の漢字の読み書きの習得。 ・古典の知識、読解力の向上 ・作文、表現能力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中に漢字の小テストを繰り返し、基礎基本から学年相当の漢字の読み書きの習得を図る。 ・苦手意識を取り去るよう授業の工夫改善をおこなう。平易な語に言い換えたり、現代にも共通する意味説明をしりすることで、知識や意味の定着を図る。 ・作文の課題を多く取り入れ、何がよくない例で何がよい例なのかを明確に説明する。継続的な体得を図り、表現力の向上につなげる。 	
数学	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な計算問題の習熟。 ・既習事項の定着。 ・授業に対して積極的な姿勢。 ・数学的な思考や表現する力の育成。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で練習問題や小テストなどを随時行い、十分な演習を通して計算問題の習熟を図る。 ・単元の導入時では既習事項の確認を行い、新しい内容の理解とともに既習事項の復習も行う。 ・生徒が発言したり、解答する機会を多く設定する。机間指導を行いながら生徒の取り組み状況を認めていく。 ・活動の場面を設定して考え、まとめ、発表することで自分なりに思考し、表現する機会を設定する。 	
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・暗記教科としてのイメージが強い ・言語化して表現(話す書く)する力の育成 ・写真や図・表などから問題を解決する力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・常に「なぜ」という疑問を持たせ、思考力の充実を図り、単に暗記するだけが全てではないことを理解させる。 ・発問を工夫し、言語活動を活発にできるようにする。また、常に正しい日本語で書いたり話す活動を心がけさせる。 ・資料などを多く取り入れて、そこから問題解決につなげる活動を増やす。 	
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・計算問題や記述問題に課題があった。 ・物理・化学分野に得に課題が見られる。実験方法の検討や適切な対照実験を計画する問題を比べても、生活体験と結びつきやすい生物・地学の分野よりも、イメージを持ちづらい物理・化学分野の正答率が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書に出ている実験・観察を押さえただけではなく、実験・観察結果からわかったことが、実際の生活とどのように関係しているのかを必ず考えさせる思考の時間を設ける。 ・計算問題への苦手意識を払拭するため、簡単な整数で計算方法を確実に押さえ、習熟度に応じて計算問題にあたるように、課題を設定する。 ・物理、化学の分野はできるだけ現象のイメージをもちやすくするために、イメージ図や映像等の視覚教材 	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・楽曲のよさや特徴について考え、感じたことを自分なりの言葉で表現する能力。 ・お互いの声をよく聴き、音の重なりを大切に合唱する能力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループやクラス全体での発表の場をもうけ、自分の意見をのびのびと発言できる環境をつくる。 ・パート間やパート内において、お互いの声を聴き、学び合う。 	
美術	<ul style="list-style-type: none"> ・美術の授業を通して学んだことを、生活や人生における生きる力につなげていく考え。生涯にわたって美術を愛好していこうとする心情。 	<ul style="list-style-type: none"> ・条件の厳しい色彩構成を設定して、これからの人生で不可欠な「ルールの中での自己表現」を学ばせる。また、自由な発想・材料・加工で行うBOXARTの制作から「自由と責任」に気付かせる。そして、1、2年生で学んだ美術文化についての学習や鑑賞も振り返り、生涯にわたって美術的な要素と深く関わっていくことを学ばせる。 	
保健 体育	<p>(男子)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体的にルーズである。 ・基礎運動能力が低い。 ・競争心が低い。 <p>(女子)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な運動能力が低い。 ・集団行動や安全に関する行動及びリーダーを中心とする自主的な活動が身につけていない。 	<p>(男子)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業規律を整える。 ・アップ、補強運動、ダッシュ、メイン練習等で運動能力向上を図る。 ・ゲームを通して向上心、競争心を育てる。 <p>(女子)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の補強運動の中に柔軟性、敏捷性、全身持久性の種目中心に取り入れていく。 ・全体指導とグループ活動の中で、効率よい行動やリーダーや仲間を尊重する態度を育てる。 	
技術 ・ 家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の時間数が比較的少ないため、学習内容の積み重ねが難しい。 日本のものづくり、特に製造業に対して興味や感心が薄く、公務員やサービス業に興味に移ってきている。 <p>(家庭科)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習への関心や意欲に差が大きい。 ・考えた事を表現する事に慣れていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 複合材料ではなく金属材料の加工を約1年間行うことで、ものづくりの内容を深め、興味や関心を引くような配分になっている。 <p>(家庭科)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時の学習内容を振り返りながら進める。 ・班での活動指導を行い関心度を深める。 ・自分で工夫する事の達成感を味わえるように個々の評価等話しをする時間を取る。 	

<p>外国語 (英語)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・Q & Aに課題があった。 ・長文問題の読むスピードに課題があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・短い文を読み理解することができるが、それに対して答えることが定着しない。授業での英語での発言に自信が持てない生徒が多い。ALTとのSpeaking Testを実施し、英語での受け答えに自信を持たせる。 ・教科書以外の英語の中・長文を毎時、授業の始めに時間を計って読ませる。1分間に何語英単語が読めているか数字で表す。 	
---------------------	--	--	--